

高校生のインターンシップ（政治と政治家・議員）概要

町田市議会議員 吉田つとむ

2025.12.10

4. 政治家の仕事2（具体的な内容）

この節は、3 政治家の仕事 1. 議会と行政の仕事の相違について 2. 議員の特徴（選出と仕事）について の続きに相当したものです。

政治家の仕事2（具体的な内容）としたので、現実の議員がどのような活動をしているかを記しました。

議員の議会活動

当たり前のことですが、議会の会議で表決に加わり、賛否の討論を行ったり、賛否を表わすことが最も大きな役割としましょう。

次いで、会議の花形は、議員の質問（行政にその職務を訪ねることを意見を述べることで、質疑と区分される）や質疑（議案の内容を尋ねる）を行うことで、議員にとっては、その活動時間で最も時間を割くことになるでしょう。資料を読み取る時間とともに、対象を直接取材すること、着眼点と時間のかけ方がその議員（政治家）の評価の判断基準にされるものと考えられます。

次いで、もっぱら行政が行う「議案」を作成することが議員にとっても意義あることだと考えられます。現実はスタッフがいなくて議員だけで作成することになり、行政の提案議案で問題案件の修正案を作成するところから始めるのが議員としてのその能力を示す場面となるでしょう。なお、上記の記した議案と異なり、意見を表明（決議案）したり、国などに意見を提出する（意見書）ことがあります、議会の機能から観点で文書や発言の重みが異なると見て良いでしょう。

議員の調査活動

上記の議員の議会活動とのかかわりでの調査がメインになりますが、その他に、議員がライフワークにしている分野、関心を持つ事案の研究が、先々役立つこともあり、それが無くても、研究の指針が日ごろの議員の議会活動に役立つものでしょう。

議員の対住民活動

議員は住民の支持を無くして、そのポジションを継続することは至難の業と言えます。

常日頃から、住民の動向に気を配り、その問題発生に关心を深める必要があります。個別の住民要望、要請にどのように対応するかが肝要であり、最も重要なことは最も近距離にあって、それぞれの住民活動に接することでしょう。

これまた、議員の見識と行動が問われるものであり、議員の問題対応、解決能力が問われるものと言えることです。

議員と政党との関わり、政策集団や勉強会との関係

大多数の議員は政党に所属をしています。旧来の政党に所属する場合は、党の政党の人気の増大、減少に対応して、自分の支持の増減も生じてきます。

個別の議員にとっては、それが自分の浮沈に直結しないように、議員本人の行動、発言（人柄）で一定以上の支持を確保することが必要とされます。

現に、各地方自治体の選挙において、同じ政党の議員、候補者でも上位で当選するものも、下位で当選するものも、あるいは落選するものもいます。極端な場合は、いわゆる泡沫候補に近い得票の場合もあります。

新興政党で人気がある政党の新人候補者では、いたるところでトップ当選の例が出てきます。注意深い見ていると、その候補者の氏名が十分に、あるいはほとんど知られていなくても、トップ、上位の当選例が起きています。

こうした人材は、次はどうなるかと言う例を選挙の歴代情報で調べることが有益です。

議員の対外部組織との関係や活動

議員が安定的に仕事をするためには、当選の期数を重ねる必要があります。

多様で流動的な大勢の人に対して支持を継続して得ることは至難の業です。政治家には様々な人がいるので、器用に人気取りが可能な人材もいるでしょう。

ただし、一般の政治家にこうした奇跡的な能力を求めるのは、現実世界の話にはならないと考え、もっと多数の政治家が取り得る方法を考えるのが賢明な手法と考えられます。

世間には、様々な地縁、血縁があります。あるいは、人生の過程でそれぞれが歩んだ人生が政治家には関係してきます。例えば、小学校や中学校で異能を発揮したことがあれば、それが人を引き付けるきっかけにもなり、思わぬ支援の輪が出来る時もあります。地方議員に会っては、地元の中学校や高等学校で生徒会長をしていたということも、政治家に大きな支持基盤を作るきっかけになるでしょう。あるいは時代が立って、PTA会長をしていたということも直近まで成功の大きな背景、基盤となっていました。ただし、ことPTAに関してはその機関自体が極端に縮小したり、あるいは存在が危ぶまれる時代に至っていることで、それが政治家の基盤となり得るのは影響力が減少していると見なせます。

それでは、議員が継続するにあたって、どのようなものがあり、どのように対応するべきか、それは口述の中で行います。